

# 静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目12番4号  
(タウンコート常磐町 1F)

TEL. 054-252-2418

FAX. 054-252-2430

発行人 松浦 源

## 第五十四回 通常総代会の開催



平成三十年年度の第五十四回通常総代会は、五月二十四日(木)静岡市内のクーポール会館において開催された。総代会には、代議員、役員、支部長、青年部員並びに来賓八十一名の出席のもと、十三時に中村副理事長の開会の辞に始まり、熱心かつ真剣な審議がなされた。

会議の冒頭、松浦理事長は挨拶に立ち、我が国の景気は、このところ緩やかな回復基調が続いており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあつて緩やかに回復していくことが期待されるが、海外経済の不確実性や金融市場の変動の影響に留意する必要があると分析されています。

こうした中、わが建築板金業界は、引き続き受注機会の減少、資材価格の高騰、実質施工単価の低落傾向等により、経営環境は依然として厳しい状況にあるが、このような時こそ長年に亘って培

われた組合員相互の連携、協調、団結精神を一層強固なものとして、その時々々の経済情勢に対処してゆくの必要があると痛感いたしますとの感想を述べ、そのためには習得している技能の更なる研鑽に努め、更には、仕事を取るための積極的な営業活動や経営の在り方の再検討を行うなど、新たな意識で行動することが求められるとの見解を述べた。

また、我々の喫緊の課題として、後継者の育成確保の問題があり、今後の組合組織や、この業界を担っていく青年層に対して、今まで以上に親組合としての連携、支援を強化していく必要があること、などを出席者に訴えた。

最後に、「二年後の平成三十二年の建築板金業者全国大会が、この静岡市で開催されるので、組合としては、この全国大会の開催に向け組合員一丸となつて取り組んでまいりますので、ご臨席のご来賓の皆様方には格別のご支援・ご協力をお願い申し上げます。」との決意表明があつた。

続いて、議事の審議に入り議長に、金子善信氏(浜松支部)、市川博三氏(西遠支部)が選任された。提案された第一号議案(二十九年年度事業報告)については、北村副理事

長が説明、「青年部事業については戸塚青年部長)、続いて第二号議案(二十九年年度会計決算関係)は、伏見主任会計、鈴木会計理事及び酒井会計理事から説明がされ、また、青年部会計については、森本青年部会計から説明がされた後、段原監事から監査報告がなされ承認された。

次に第三号議案(三十年年度事業計画案)については、松浦理事長が説明し、第四号議案(三十年年度予算案)については、伏見主任会計が説明して承認された。次に第五号議案(借入金最高限度額及び取引金融機関の決定)を松浦理事長が説明し、承認された。



次に第七号議案(役員選任の件)は、役員選考委員五名を選定し、欠員となる副理事長及び欠員となつている常任理事の指名推薦を行った結果、新副理事長に鈴木隆彦氏

が選任された。松浦理事長は、直ちに総代会終了後に理事会を招集すると共に補充する役員を選任について推薦案を作成し、総代会終了後の理事会に諮つた結果、出席理事全員から了承された。

(新役員は別掲のとおりである。) 議事終了後、来賓からご祝辞を頂いた。最初に、衆議院議員塩谷立先生のメッセージを続いて中小企業団体中央会から、最後に協力店会を代表して榎小池弥太郎商店からご祝辞を頂いた。この後、懇親会が開催され来賓の協力店等の皆さんを交え、昨今の経済情勢や業界情報が熱心に語られていた。

### 第五十四回 通常総代会挨拶

理事長 松浦 源

本日、ここに第五十四回通常総代会を開催いたしましたところ、総代を始め、各役員、青年部等多くの組合員のご出席をいただき盛大に開催できますことを感謝いたします。

また、ご多忙のところご臨席を賜りました、ご来賓の皆様方には心からお礼を申し上げます。さて、我が国の景気はこのところ緩やかな回復基調が続いており、先行きについては、雇用・所

得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあつて緩やかに回復していくことが期待されるが、海外経済の不確実性や金融市場の変動の影響に留意する必要がありますと分析されています。

こうした中、わが建築板金業界は、引き続き受注機会の減少、資材価格の高騰、実質施工単価の低落傾向等により、経営環境は依然として厳しい状況にあるが、このような時こそ長年に亘って培われた組合員相互の連携、協調、団結精神を一層強固なものとして、その時々々の経済情勢に対処してゆくの必要があると痛感いたします。

そのためには、習得している技能の更なる研鑽に努め、また更には、仕事を取るための積極的な営業活動や経営の在り方の再検討を行うなど、新たな意識で行動することが求められると共に、我々の喫緊の課題として、後継者の育成確保の問題があり、今後の組合組織やこの業界を担っていく青年層に対して、今まで以上に親組合としての連携、支援を強化していく必要がありますので、組合員各位におかれましても、従来に増して青年部活動への理解、協力及び指導を宜しくお願い申し上げます。

さて、一昨年の総代会

におきまして皆様にご披露いたしましたとおり、二年後の平成三十二年の建築板金業者全国大会がこの静岡市で開催されますので、組合といたしましては、この全国大会の開催に向け組合員一丸となつて取り組んでおりますので、ご臨席のご来賓の皆様方には格別のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに当たりまして、現在、我々業界を取り巻く社会経済環境は一段と厳しい状況にありますことから、引き続き、組合員が相互に励ましあい、組織力を結集してこの苦難の時期を乗り越えなければなりませんので、ご臨席のご来賓の皆様方には、これまで以上に増してご理解とご支援をお願い申し上げます。私、松浦源とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。



日新製鋼

日鉄住金鋼板株式会社

株式会社 釜慶マクサプライ

〒435-0041 静岡県浜松市東区北島町757

TEL 053-423-0007

FAX 053-423-0010

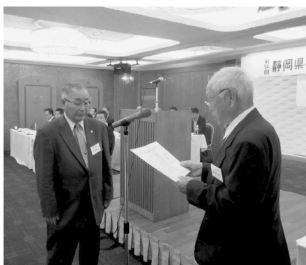
### 表彰状等の授与

通常総代会において、静岡県板金工業組合の役員として引き続き六年以上組合発展のため取り組まれ退任された中村敏一（前副理事長）及び多年にわたり事業活動に熱心に取組まれ、組合発展に尽力された九名の皆さんに、松浦理事長から表彰状と記念品が授与された。

表彰式終了後、浜松支部の野末哲久さんから受賞者を代表して謝辞があった。

### 退任役員表彰

中村 敏一（副理事長）  
（敬称略）



### 県板功労表彰

- 富士支部 萩原 拓也
  - 清水支部 杉山 賢
  - 清水支部 伏見 正巳
  - 静岡支部 佐々木和利
  - 焼津支部 那須野裕成
  - 榛南支部 秋山 茂
  - 浜松支部 多田 涼
  - 浜松支部 野末 哲久
  - 浜松支部 宮本 康彦
- （敬称略）

### 県板団体保険感謝状

多年にわたり団体保険に加入いただき、組合の共済事業への協力に感謝し、次の二名の皆さんに松浦理事長から感謝状と記念品が授与された。

- 伊豆支部 山口 道夫
  - 富士支部 野村 和稔
- （敬称略）



### 全板宮城大会 四十八名参加

#### 県板事務局

第七十回全国建築板金業者大会が、五月十七日（木）宮城県仙台市の「夢メッセみやぎ」で開催され、全国から約三千五百名余の同業者が参加し、本県からは事務局長を含め四十八名が参加した。



### 全板連宮城大会 に参加して

#### 副理事長 鈴木隆彦

大会では、「復興から再生へ今一度建築板金の力で！」を総合テーマに、目標として「登録基幹技能者の更なる地位向上と正当な評価を獲得しよう」、「次世代のさらなる飛躍のために後継者の育成強化を図ろう」、「非組合員の加入促進と組合員の社会保険の加入徹底をしよう」、「業界の国保・年金基金で福利厚生を充実させよう」などが大会宣言として、力強く宣言された。

また、大会の表彰式では、本県から御殿場支部の鈴木隆彦氏と清水支部の林孝之氏が功労章を受賞された。

この度、第七十回全国建築板金業者宮城大会において功労表彰をいただきました。

創業以来親子三代で業務を行いおよそ七十年になります。

このような時期に全板

表彰を頂きましたことは身に余る光栄と心から感謝申し上げます。

また、組合の諸先輩方にご指導をいただきながら板金に関わる全ての資格を習得させていただき、早くから組合の役員を経験させていただくことにより、多くの方々を知り、多くの新技術を勉強させていただきました。

心から感謝申し上げます。

さて、これからの住宅環境は少子高齢化の進展と共に大きな変革の時期になって来ることが予想されますことから、私たちが習得した技術を後世に伝えて行くことは、諸先輩方への御恩返しと建築板金業界への義務を最小限ですが果たすことだと考えておりますので、これを機に県板金組合及び板金業界の発展の為に微力ではありますが、尽力いたす所存で有ります。



結びに、いよいよ全板静岡大会が二年後に迫っておりますので、この宮城大会等を参考としなが

### 技能検定実技試験 講習会

#### 県板事務局

三十年度技能検定実技試験に向けて、実技講習会が、六月二日（土）六月三日（日）、の二日間清水技術専門校で開講された。



今年度の受講者は、一級二十一名、二級六名の計二十七名で、昨年より七名増加した。

指導に当たった十名の

技術検定委員及び補佐員からは、受講者の真面目な態度、熱心さを求める声が多く聞かれ、指導の結果、緊張感溢れる講習会となった。



松下委員長からも、時間内に全員仕上げまで行かなかったのが、実技試験日まで追加講習会が必要との講評があり、今後、東・中・西の各地区で追加講習会を行う必要性が確認された。これを受けて、各地区委員は六月下旬までに臨時の実技講習会を開催した。

技術検定委員長は、七月二十四日の実技試験本番には、全員が努力の成果を遺憾なく発揮して、良い結果が得られることを期待するとコメントした。

なお、職能協が主催する技能検定実技試験は、予定通り七月二十四日（火）に実施され三十名ほどが受験した。

今後は、八月二十一日（火）、二十二日（水）に静岡労働会館において学科講習会を開催する予定である。

### 技能競技大会の開催

#### 技術検定委員長 松下隆満

今年度の技能競技大会は九月三十日（日）に清水技術専門校で開催される。課題作品については、Aコースは「ちりととり」で昨年と同じだが、Bコースは、「片手桶」(今年度の大会の課題)に変更されることとなった。

競技大会参加者を対象にした事前講習会は、八月二十六日（日）清水技術専門校で実施される。

最優秀者は県知事等から表彰され、またBコース優秀者二名以内は、三十一年二月下旬に富士宮市で開催される全国大会へ出場する権利を得ることとなる。

技術検定委員会では現在、八月月上旬を期限として参加者を募集しているが、参加者の年齢制限は廃止されているので組合員、後継者及び従業員等多数が参加し技能を競うことが業界全体のレベルアップに繋がると期待している。

今年のBコースの「片手桶」は展開図等詳細面について、技術検定委員長が主体となって、調査、検討を重ねているが、完成した折、関係者に配布する予定である。



▶片手桶

### 小・中学生のものづくり 体験学習指導

#### 県板事務局

静岡県職業能力開発協会、厚生労働省認定の「ものづくりマイスター」派遣事業として、県下各地区の小・中学校生等の児童生徒に対するものづくり体験学習（魅力講座含む）を実施しています。今年度は昨年より四箇所多い十三箇所となっております。



体験学習を実施する全箇所では先生方に「ものづくり作業」を説明するための「魅力講座」を加えると、今年度は、二十六回の講座や体験学習を実施することとなります。

この事業は、各技能士会に所属するものづくりマイスターに対して、依頼されるもので、各技能士会では、マイスターの皆さんにお願いし、限られた人員の中で本業と、この派遣事業を大変な努力と犠牲を払って実施しているのが実情です。この他にも、九月中旬に「ツインメッセ静岡」

で行われる「県主催のものづくりフェスタ」や各訓練校の技能祭、各地区のものづくりイベントへの参加等めまぐるしく出展、指導の機会が連続的に展開されていきます。

元より美しい輝きを放つ銅板細工は人気があり、児童・生徒からの要望も多く寄せられているようです。しかし、現員のマイスター二十二名では、今後、西部地区及び伊豆地区にまで拡大していくと見込まれる体験学習の実情に対応するのは難しく、今年度、実施個所の多くを占める中部地区を中心になお数名のマイスターを新たに認定登録することによって、各マイスターの負担を軽減し対応しようとしています。

職能協では、昨年度あたりから、ものづくりマイスターの派遣事業が本格化しており、今年度は昨年度に比べ増加しています。今後は、全県規模で事業展開を図っていく計画が有るようです。組合ではものづくりマイスターの地域バランスを考慮しながら九月頃から認定申請を進め、充的な体制をもって対処していくこととしておりますが、マイスターの方以外の各支部の皆さんにも補助指導員としてのご参加をお願いする機会が有るかと思っておりますので、その

節はご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

#### 清水支部

### 『盆総会』を開催

清水副支部長 金井保栄 毎年夏の恒例であります「清水支部・盆総会」を、七月十五日(日)「清水グランドホテル」にて盛大に開催しました。



来賓は衆議院議員望月義男先生秘書を始め、県義会議員・市議会議員の先生方及び各メーカー・協力店の皆さん方、多数にご参加いただきました。総会の次第は例年の通りでしたが伏見支部長は挨拶の中で、この夏は例年に比べて暑くなると言われていてるので熱中症には十分注意すること、清水支部から松浦さんが静岡板金工業組合理事長に就任し元気に活躍していること、二年後の全板静岡大会は何としても成功させたいので、大会に際し皆様方それぞれのお力添えを頂ければとお願ひしました。

挨拶の後、清水支部役員はそれぞれのテーブル

に出向き、清水支部として、松浦理事長を引き続き全面的に援護し、様々な面で協力していただけるよう支部組合員全員にお願いして回りました。今回の盆総会は仕事の事は勿論ですが、全板静岡大会に向けて、県の大いなる推進会議はどのように進めていくのか自分たちはどの時点でどのようなことをしていくのか、等々多くの質問が出されてい

ました。我々の具体的な支援内容について決めてほしいなどの意見が出ていました。今までの盆総会と同様、青年部からも様々なことに積極的な意見が出てくることをとても頼もしく感じました。

若い人達が積極的に意見を出し合い、協議し、皆が一緒になって活動できる支部体制を作りたいと考えています。暑い夏の中の盆総会でしたが、とても良い総会だったと思います。皆様本当にありがとうございます。お疲れ様でした。

#### 「随筆」

富士支部 野村和稔

### 荷風送香氣

(荷風、香氣を送る)

陸の国、仙台伊達藩のお膝元で全国板金業者宮城大会が仙台青葉祭の前

日、開催され大盛会の内に幕を閉じた。天皇の退位に伴い、来年は元号が代わる。翌年、二千二十年には、駿河の国地元静岡市での開催である。

役員事務局はもとより、会員、青年部、家族万全の準備を期して、全国各地より、お越し下さる人々に心を込めておもてなしをして「静岡大会」に参加でき非常に良かったと思ふ印象を土産にしてもいい。

夏の盛りには、各地の苑池やお堀では、蓮の花が咲き誇る。その上を吹く風は、清々しく、はなはだ品の良い香りを運んできて、ひと時、暑熱を忘れさせてくれる。

念のために言うこと、荷(か)とは蓮のこと、荷風は、その上を渡ってくる風だ。

荷風と言えば、日本伝統文化を顧みない風潮を嫌った永井荷風が想起されるが、それはともかく、蓮の香りは実に微妙である。けっしてシャヤリ出して自分を主張したりしない。

花卉に顔を近づけても、ほんのり甘い香りだから、荷風が運んでくる香氣は、もつと幽か(かすか)だ。

それをこのように受け止めた感性は、なおざりにはできない。それというのも、近年は全てがギトギトして強烈なのだ。

刺激は次第に強くなり、それに慣らされても、私たちが又、一層強い刺激を求める・・・ そうした世相でなにより心配なのは、人の心の理解だ。何が微妙だと言って、私たちの心ほど微妙なものはない。

それをあれこれ付度(そんたく)するには幽かなものへの敏感な感性が力がない。この一句に秘めるものは、小さくない。

平成三〇年 立夏

### 保証経営委員会を開催

保証経営委員会が、7月20日(金)13時30分～静岡労政会館で開催され、松浦理事長、鈴木委員長を始め18名が出席し依然として厳しい経営環境の中、責任施工保証事業の現状、建築板金における経営環境及び第72回全板静岡大会準備会議の推進状況等について活発な意見交換が行われた。

- 保証経営事業の現況**  
責任施工保証制度について、全日本建築板金保証センターの資料に基づき、現在の施工保証書の発行状況を確認し、本県組合の保証書発行状況は、他県に比べて決して多い方ではない。  
また、保証約款の第2条第2号に定められている現在の保証の実態を考えると今後も大幅な増加は望むべくもない等の厳しい現状の説明がなされた。  
反面、実効性は薄いものの、発注者からの信用を得るには効果的な制度である。  
また、保証の補完機能として全板連扱いのPL保険等の補償保険は保証の後盾として加入しておくことは不可欠である等の説明が事務局からあった。
- 建築板金における経営環境について**  
(1) 県内全域で利用できる公的助成制度  
住宅を新築(リフォームを含む)・購入したい人等に対する各種公的助成制度について県内全域の適用状況を事務局から提供した。また、上記以外にも各市町村等独自のリフォーム等補助事業制度も実施されているので、注目していく必要がある。  
公的助成制度を理解することによって仕事の範囲も広がるので、営業活動などに極力活用していただきたいとの説明が事務局からあった。  
(2) 資材単価及び施工単価の現況  
事務局から、公共工事労務単価の静岡県及び国土交通省の資料及び公共建築工事の設計資材価格表を提供し、部会長から小笠及び伊豆それぞれの地域の状況について説明があり、労務単価の現状や地域の実態、資材単価などの把握できる身近な現況について意見交換がなされた。
- 第72回全板静岡大会の推進体制について**  
事務局から来る8月3日に第2回全板静岡大会推進会議が開催される旨、大会経費の収支概算額(改訂後)の説明及び推進会議の活動状況並びに全板連との役割分担等の交渉経過等について口頭で説明があり、委員会の役割分担や保証経営委員会の役割が説明された。  
最後に委員会メンバーは全板静岡大会の成功に向け全員で協力していく旨が確認された。  
全ての議題を終了し、14時30分に閉会した。

厚生労働委員会を開催

厚生労働委員会が、6月22日(金)に静岡労政会館で開催され、松浦理事長、北村委員長を始め18名の委員等が出席し、現場安全パトロールの実施、労働災害防止対策、全板宮城大会参加結果及び静岡大会の準備等の重要事項について熱心な討議が行われた。

1. 現場安全パトロールの実施

建設業労働安全防止協会の現場安全パトロールについては、昨年に引続き東中西の4地区で実施することとし、実施時期は例年通り10月を予定したいとされた。

パトロール実施効果を考えると、県板金のみのパトロールでは、指導効果に疑問があるため、昨年の東部地区同様パトロール実施区域を所管する労基署等との合同パトロールとしたらどうかとの意見が委員長から出された。

2. 労働災害防止対策

大久保部会長から建設業における墜落・転落災害防止対策について死亡事故については建築工事現場等での墜落・転落災害が最も多い点、平成27年度の労働安全衛生規則の改正に伴い、自分の身は自分で守るよう心掛けることなど足場からの墜落防止に関するリーフレットに基づく説明があり、労働安全基準局の指導も大変厳しくなってきたとの指導があった。

3. 熱中症の予防

金田部会長からは7月から8月にかけては高温多湿な時期が長く続くこと、猛暑日も例年より多いことが予想されることから、屋外作業に従事する組合員にとって、万全の予防措置が必要であり、作業の前・作業中の水分・塩分の摂取を始め、こまめに休憩を取る、涼しい休憩場所の確保、通気性の良い服装・帽子の着用などが求められることなどについて口頭で様々な注意喚起がなされ、環境省の熱中症予防情報サイトのリーフレットを基に具体的な対処方法が必要であるとの説明があった。

4. 全板連全国大会

全板宮城大会について、48名の参加者の状況、経費の精算について事務局から報告があり委員の了承を得た。また、次年度開催される予定の第71回高知大会への参加予定日程等について説明があった。

5. 全板静岡大会推進会議の設置

静岡県板金は平成32年の全板静岡大会の開催に向けて静岡大会準備会議を立ち上げ、推進会議の中に3つの委員会を設け、大会を成功させるべく組合員一丸となって事業を推進しており、当面6月から7月にかけて静岡市及び静岡県の後援を取り付けるべく接触している。また、全板連に対しても大会経費の役割分担について同時期に照会し、調整を図りたいとの説明が事務局からあった。

静岡県板金工業組合役員名簿

平成30年5月24日改選

役職名	氏名	新任・留任	役職名	氏名	新任・留任
理事長	松浦 源	留任	理事	増田 信行	新任
副理事長	鈴木 隆彦	新任	同	依田 勇一	6月22日逝去
同	北村 弘	留任	同	山本 泰義	留任
同	松下 隆満	留任	同	和田 章	留任
常任理事	稲葉榮二郎	新任	同	大久保 亨	留任
同	鈴木 文雄	新任	同	藤田 英男	留任
同	青木 進	留任	同	岩崎 則幸	留任
同	大久保昌彦	留任	特任理事	戸塚 桂吾	留任
同	長谷川敏男	留任	同、顧問	林 紀明	留任
同	金田克比呂	留任	監 事	段原 良則	留任
主任会計	伏見 一雄	留任	同	河合 一郎	留任
会計理事	早川 誠二	新任	同	大石 光夫	留任
同	酒井 啓一	留任			
				以上25名	

\*特任理事は、登記上は理事であるが、組合の役員選挙等における選挙権を行使しない。

静岡県板金工業組合役員名簿 (委員会分担)

平成30年5月24日改選

役職名	氏名	担当委員会	役職名	氏名	担当委員会
理事長	松浦 源	総 括	副部会長	鈴木 直人	厚生労働
委員長	鈴木 隆彦	保証経営	同	寺内 誠	保証経営
同	北村 弘	厚生労働	同	松下 昌憲	保証経営
同	松下 隆満	技術検定	同	金子 善信	保証経営
部 会 長	稲葉榮二郎	保証経営			
同	鈴木 文雄	技術検定 (特別委員)	鈴木 隆彦	技術検定	
同	青木 進	技術検定			
同	大久保昌彦	厚生労働			
同	長谷川敏男	保証経営			
同	金田克比呂	厚生労働			
副部会長	増田 信行	技術検定			
同	金井 保栄	技術検定			
同	伊藤 保明	技術検定			
同	炭山 道弘	厚生労働			
同	伏見 一雄	厚生労働			
				以上19名	再掲1名

\*委員長及び部会長は常任理事会の承認を得ています。  
\*副部会長は委員長の意見を聞いた結果を反映したものです。



鉄板用ビスの御用は

ドリルビス・コースレッド・ALCドライブ・プルーフボルト・各種  
お客様のニーズにお応えします

株式会社 静岡ねじ

静岡市駿河区中吉田13番6号  
電話 054-263-8756 FAX 054-263-8783

長尺板金成型加工・屋根・壁  
各種建築資材販売・建築板金機械工具  
電動工具・エアー工具販売  
住まい造りのおつた

萩原スチール株式会社

\*お気軽にお問合せ下さい\*  
本社 焼津市焼津1-5-6(焼津郵便局前)  
TEL 054-627-0138  
板金加工センター(アステラス製薬南側)  
TEL 054-629-4700

製品保証:1 標準色 オーダー色

15年 3+6色  
定尺横葺 UMルーフ1(ONE)

株式会社 植松

沼津市西沢田200-1 TEL:055-922-1555

\*1...15年保証は標準色のみとなります。

欲しい物がここにある

さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式会社

鐵鋼二次製品 卸・加工

本社/〒437-1302 掛川市大洲9617  
TEL 0537-48-3828(代) FAX 0537-48-2644  
ホームページアドレス http://www.nishikawakouhan.com/  
事業者様向けの会員制カタログ・インターネット通販  
会員登録料無料・年会費無料 ご注文は24時間MAIL・FAX受付  
エスコ便利カタログ(工具・機器・部品・消耗品・備品)代理店  
ファーストリフォーム(施工のプロのための住宅建材)代理店

カリフォルニアスタイルの演出に...高級鋼板製バンドレル

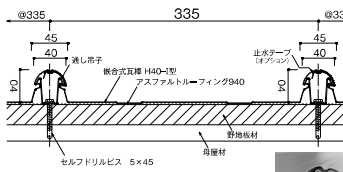
新製品 エバーライン® 横段スパン182 (横張り外壁材)  
製品形状・製品カラーについては、当社までお問い合わせ下さい。

屋根に穴をあけない 屋根・外壁見積積算ソフト  
ソーラーパネル取付金具 板金王® 瓦王® 外壁王®  
PVロック® レンタル契約 ¥6,000(税抜)/月額

お求めは静岡県特約販売店10社へ  
総発売元 西川鋼販株式会社  
詳しくは当社ホームページでご確認ください。

嵌合瓦棒 H40-I型

~優雅な新しい丸嵌合式屋根~  
キャップ部が本体と一体になったことで、  
施工の工期短縮、経済性にすぐれた効果を発揮します。



株式会社 小池弥太郎商店

本社・本社工場/〒420-0922 静岡市葵区流通センター16番  
TEL(054)263-2230(代) FAX(054)263-6163  
藤枝支店/〒426-0041 藤枝市高柳2149-1  
TEL(054)636-4040(代) FAX(054)636-2911  
牧之原工場/〒421-0412 牧之原市坂部110-7  
TEL(0548)25-3975(代) FAX(0548)25-3977  
東京事務所/〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町28  
エフセル神田 5B  
TEL(03)5297-4840 FAX(03)5297-4845  
E-mail : info@koike-s.jp http://www.koike-s.jp

はる一番 アニューシリーズ登場!  
デザインシリーズで人気の切石柄のデザインと、シンプルシリーズで人気のメタリックを中心とした色を組み合わせることで、これまでになく新鮮さを感じる豪華デザインに仕上がりました。  
全幅サイディング  
はる一番  
アニューシリーズ  
グロッシュ  
ケイミー株式会社 静岡営業所 〒420-0917 静岡市駿河区南門1丁目番14号 TEL(054)261-0336

金属定尺横葺屋根  
S&Sルーフ Simple and Safety  
自由な施工性  
「葺き方向」&「重ね代」を自由に決められるため、廃材の削減につながります!  
屋根・壁・太陽光発電... 組立て実業ビルード! 株式会社 セキノ興産  
浜松店 ☎(053)440-0940  
富士店 ☎(0545)37-0715